
2550. 輸出便情報照会

業務コード	業務名
I F T	輸出便情報照会

1. 業務概要

入力された搭載便名により、当該便に割り当てられているULD情報、輸出貨物情報及び搭載、未搭載の状況等を照会する。

(1) 処理識別がスペース（貨物情報照会）の場合

入力された搭載便に割り当てられているすべての輸出貨物情報の照会を行う。

(2) 処理識別が「M」（MAWB情報照会）の場合

入力された搭載便に割り当てられているMAWB情報の照会を行う。

(3) 処理識別が「R」（未搬入貨物情報照会）の場合

入力された搭載便に割り当てられている貨物の中で「搭載便割当情報登録（AWB単位）（FLI）」業務で新規作成され、「一括搬入確認登録（BIL）」業務等が行われていない輸出貨物情報の照会を行う。

(4) 処理識別が「U」（ULD情報照会）の場合

入力された搭載便に割り当てられているULD情報及びULDに積み付けられている輸出貨物情報の照会を行う。ただし搭載完了した貨物情報は表示しない。

2. 入力者

税関、航空会社

3. 制限事項

1業務で処理可能なAWBまたはULD件数は最大20件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 輸出便情報DBチェック

①入力された搭載便名に対応する輸出便情報DBが存在すること。

②入力者が航空会社の場合、当該便情報に登録されている航空会社と同一である入力者であること。

ただし、入力者が受託者の場合は、受委託関係がシステムに登録されていること。

(4) ULD情報DBチェック

処理識別がスペース（貨物情報照会）の場合、以下のチェックを行う。

①入力された搭載便名に対して割り当てられているULDに対応するULD情報が存在すること。

②輸出便情報に登録されている航空会社とULD情報に登録されている航空会社が同一であること。

③輸出便情報に登録されている空港コードとULD情報に登録されている空港コードが同一であること。

(5) 輸出貨物情報DBチェック

(A) 処理識別がスペース（貨物情報照会）の場合、以下のチェックを行う

(a) 入力された搭載便名に対してULDが割り当てられている場合

①当該ULDに積み付けられているAWBが輸出貨物情報DBに存在すること。

②入力された搭載便名が登録されていること。

③ULDの積付け情報が登録されていること。

- (b) 入力された搭載便名に対してAWBが割り当てられている場合
 - ①当該AWBが輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②AWBまたはMAWBであること。
 - ③入力された搭載便名が登録されていること。
 - ④「積付結果登録（MAWB単位）（ULD）」業務等でULDに積み付けられていない貨物（以下、「バラ貨物」という。）であること。
- (B) 処理識別が「M」（MAWB情報照会）の場合、以下のチェックを行う
 - ①入力された搭載便名に対して割り当てられているMAWBが輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②MAWBであること。
 - ③入力された搭載便名が登録されていること。
- (C) 処理識別が「R」（未搬入貨物情報照会）の場合、以下のチェックを行う
 - ①入力された搭載便名に対して割り当てられているAWBが輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②入力された搭載便名が登録されていること。
 - ③FLI業務で新規作成され、搬入確認が行われていない貨物であること。
- (D) 処理識別が「U」（ULD情報照会）の場合、以下のチェックを行う
 - ①入力された搭載便名に対して割り当てられているULDに積み付けられているAWBが輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②AWBまたはMAWBであること。
 - ③入力された搭載便名が登録されていること。
 - ④ULDの積付け情報が登録されていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 輸出便情報抽出処理

(A) 処理識別がスペース（貨物情報照会）の場合

- ①入力された搭載便名に対して割り当てられているULD情報及びULDに積み付けられている貨物の輸出貨物情報を抽出する。
- ②入力された搭載便名に対して割り当てられているバラ貨物を抽出する。

(B) 処理識別が「M」（MAWB情報照会）の場合

入力された搭載便名に対して割り当てられているMAWB（ULD収容貨物、バラ貨物）を抽出する。

(C) 処理識別が「R」（未搬入貨物情報照会）の場合

入力された搭載便名に対して割り当てられている貨物の中で、FLI業務で新規作成され、搬入確認が行われていない輸出貨物情報を抽出する。

(D) 処理識別が「U」（ULD情報照会）の場合

入力された搭載便名に対して割り当てられているULD情報及びULDに積み付けられている輸出貨物情報を抽出する。

ただし、搭載完了の旨が登録されたULD情報及びULDに積み付けられている輸出貨物情報は抽出しない。

(E) 継続処理

照会可能なAWBまたはULDが20件を超える場合は照会情報を再度送信することにより次の20件を抽出し、照会する。

(3) 輸出便情報照会情報出力処理

輸出貨物情報DBより、輸出便情報照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(4) 注意喚起メッセージ出力処理

照会の対象となるAWBまたはULDが20件を超える場合は、注意喚起メッセージとして輸出便情報照会情報に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
輸出便情報照会情報	なし	入力者